



◆実践コラム◆

『中小企業経営に過剰な財務指標管理は不要です。目標とする財務指標は「現預金月商比率」だけに絞りましょう。』

尾川 充広 (銀行融資プランナー協会 財務アドバイザー)

◆お役立ち情報◆

『「地域中小企業応援ファンド」について』

今西 章 (社労士 銀行融資プランナー協会 財務アドバイザー)

◆実践コラム◆  
中小企業経営に過剰な財務指標管理は不要です。目標とする財務指標は「現預金月商比率」だけに絞りましょう。

尾川 充広

経営の状態を財務面から分析する場合に使用されるのが財務指標です。代表的なものは、企業の安全性を見る流動比率や自己資本比率、収益性を見る各種利益率、効率性を見る各種回転率などがあります。銀行の格付も財務指標によってランク付けされています。当然ながら財務指標が良い方が好ましいのですが、中小企業の場合、あまり財務指標を意識した経営をする必要はないと思います。

例えば、企業の安全性を見る代表的な財務指標に自己資本比率があります。他人資本(借入)を活用して積極的に事業拡大を目指す企業よりも自己資本の範囲内で小さく事業をまとめている企業の方が、数値が良くなる傾向があります。経営の本当の目的は「世界中の患者を救う医療機器メーカーになること」であったとしても、自己資本比率を気にしすぎていては、いつまでたっても家内工業から脱却できません。

経営はシンプルに考える方が上手く行くようです。数ある財務指標を複雑に考えるのではなく、中小企業の場合、目標とする財務指標を「現預金月商比率」だけに絞ってみてはいかがでしょうか。現預金月商比率とは、月商の何ヶ月分の現預金を持っているかを表した指標です。この指標に着目する理由は、経営目標を達成するためには、単純に「お金が必要」だからです。

「店舗を出す」「機械を買う」「優秀な人材を雇用する」…「お金」が必要です。

■「現預金月商比率」を上げる代表的な方法は以下になります。

- ・ 売上金を早く回収する。
- ・ 支払いを遅くする。
- ・ 借入をする。

仮に「売上高伸び率」を目標とした場合、値引きや分割払いに応じて「売上高」に固執してしまうことがありません。借入が容易にできる中小企業や大企業はそれでも良いかもしれませんが、借入が簡単ではない中小企業にとっては、手元資金が目減りする要因になります。中小企業の財務指針は「売上高が増えるかどうか」よりも「手元現預金が増えるかどうか」であるべきです。

目標の程度加減ですが、最低でも月商の1ヶ月分程度の現預金は常時保有しておきたいものです。最初のうちは現預金の自身が借入れでも構いません。次に月商の3ヶ月分が持つようにしたら、2ヶ月分を投資してさらなる現預金の増加を狙います。

このサイクルを、規模の拡大を伴いながら繰り返していったとき、全ての財務指標が良い数値になっているはず。



◆お役立ち情報◆  
「地域中小企業応援ファンド」  
について

今西 章

補助金は国(経済産業省・中小企業庁)の予算で全国的に実施されるものだけではありません。

「地域中小企業応援ファンド」(スタート・アップ応援型)の助成金は、中小企業基盤整備機構と都道府県が一体となって組成したファンド(基金)から受けることができる助成金です。

各都道府県が地域の特徴を活かし、地域コミュニティへの貢献度が高い新たな事業への取組や、地域の工芸・特産品・観光資源を活用した新規事業開発などを、創業から新商品開発、販路開拓まで幅広く応援してくれます。

【助成の対象】

各都道府県のファンドによって異なりますが、主に次の企業等が対象になります。

- 創業または経営の革新を行う中小企業、ベンチャー企業
- 中小企業の創業等を支援する事業を行う者
- 自ら事業を行うNPO法人等

【助成の内容】

助成の内容も各都道府県のファンドによって異なりますが、対象となる経費の2分の1以内で、上限は3年間で1,000万円(単年度の上限500万円)という助成が多いようです。

【その他】

■原則として本社のある都道府県のファンドに申込みます。

平成26年5月20日頃までの受付のところが多いようです。  
※群馬県、埼玉県、神奈川県以外の都道府県でファンドが組成されおり、ファンドを運営する管理者が定められています。

■申込後は、書類審査を受けて採択の可否が決定されます。  
各都道府県の詳しい助成内容については、中小企業基盤整備機構のホームページから確認いただけます。  
<http://www.smrj.go.jp/keiei/hiki/fund/index.html>

今お考えの事業計画が地域の応援ファンドの助成要件に合っているかも知れません。是非一度ご確認ください。  
最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

銀行融資プランナー協会マガジン

- 本情報の信頼性の向上には最善を尽くしていますが、その正確性を保証するものではありません。
- 銀行対応に関するご相談、税制・補助金・助成金に関するご相談は、銀行融資プランナー協会正会員事務所にて承っております。お気軽にご相談ください。
- コラムに関するご意見、ご感想、経営に関するご相談などございましたら、下記までお問合せください。

一般社団法人銀行融資プランナー協会事務局

大阪市中央区船場中央1-4-3-221・222号 (GPC-Tax本部内)

TEL : 06-6260-0022

MAIL : info@good-tax.jp

URL : http://www.bankfinancial-planner.com/